

# 矢作だむっこ

10号  
2007.1

国土交通省中部地方整備局  
矢作ダム管理所 広報誌



## 旭高原 元気村に 雪そりゲレンデオープン!

豊田市街地や名古屋市内から近く、便利なことから、四季を通じてその彩り豊かな自然を満喫しようと、大勢の利用者でにぎわう「旭高原 元気村」に、雪そりゲレンデがオープンしました。そり滑り専用ですから、小さな子供でも安心! 特産品のじねんじょ料理など、温かい料理もあり、家族みんなで楽しむことができますよ。

お問い合わせ先

旭高原 元気村 TEL.0565(68)2755  
豊田市旭八幡町根山68-1 <http://www.asahikougen.or.jp>

## 特集

●市民活動レポート

## NPO法人 奥矢作森林塾

矢作川流域の山林の再生を目指して新たな市民活動が始まっています

●矢作水源フォレストランド最新活動報告

## 住民による地域交流会を開催しました

矢作ダムニュース

平戸橋近くに河川情報板を設置しました。

# 矢作ダムニュース

矢作ダム管理所から発信する矢作ダムに関する最新ニュースです。

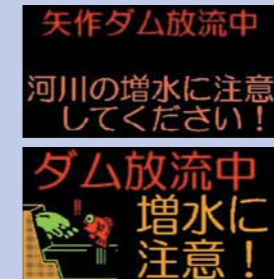
## 平戸橋近くに 河川情報板を設置しました。

矢作川平戸橋付近(豊田市平戸橋町)の右岸堤防に、新しく河川情報板を設置しました。この付近の矢作川では、釣りや水遊びを楽しむ方々の姿が多く見られるため、緊急性のある、ダム放流による増水などの河川情報をいち早く、そして確実にお知らせする必要があることから、今回の設置となりました。

河川利用者ばかりでなく、平戸橋を利用される歩行者の方々にも、河川情報を見ることができるよう設置してありますので、安全な河川利用のために、ぜひ、ご活用ください。



●表示例



●設置場所



## 編集後記

表紙の絵みたいに雪山を楽しんでいる人も多いと思いますが、今年は暖冬で雪が少ないみたいですね。スキーヤー・スノーボーダーの皆さん地球温暖化防止をより一層推進しましょう!  
本年最初の広報誌です。今年もよろしくお願いします。  
アンケートハガキでご意見ご感想をお聞かせ下さい。



## 国土交通省中部地方整備局 矢作ダム管理所

〒444-2841 愛知県豊田市閑瀬瀬町東畑67  
TEL.0565(68)2321 FAX.0565(68)2328  
ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/yahagi>

●矢作ダム管理所広報誌「矢作だむっこ」は以下の場所で入手できます。

愛知県/豊田市、旭支所、稲武支所、下山支所、足助支所、藤岡支所、小原支所  
岡崎市、碧南市、安城市、西尾市、一色町、吉良町、  
西三河農林水産事務所、豊田加茂建設事務所、西三河建設事務所、知立建設事務所  
岐阜県/串原振興事務所、上矢作振興事務所、恵那建設事務所 長野県/根羽村、平谷村

この広報誌は再生紙を使用しています。

本広報誌『矢作だむっこ』や矢作ダムについて、読者のみなさんのご意見をお聞きしています。また、矢作ダムに関する『疑問』や『要望』もあわせてお寄せください。お寄せいただいたみなさんからの貴重なご意見は、今後のダム管理や広報誌の制作に活かしてまいります。

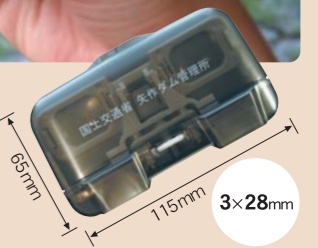
携帯に便利な  
折りたたみ式

アンケート調査にお答えいただいた方の中から

## 50名様 に軽量で持ち運びに便利な コンパクト双眼鏡をプレゼント!



アンケート調査にお答えいただいた方の中から50名の方々に、スポーツにレジャーに、軽量で気軽に持ち運べるコンパクト双眼鏡をプレゼントします。



## 郵便はがき

料金受取人払

旭局  
承認  
7

4 4 4 2 8 8 7

(受取人)

旭郵便局私書箱1号

差出有効期間  
平成19年11月  
30日まで  
(切手は必要  
ありません)

国土交通省 中部地方整備局  
矢作ダム管理所

矢作だむっこ アンケート係 行

矢作ダムや矢作川に関する質問、本広報誌「矢作だむっこ」に対するご要望などございましたら自由に記入ください。

氏名 (性別 男/女 年齢)

お寄せいただいたみなさんのご意見を広報誌などに掲載させていただく際に  
匿名またはペンネームをご希望の方はご記入ください。

匿名を希望 (はい/いいえ) ペンネームを希望 ( )

〒

住所 電話

職業 1.会社員 2.主婦 3.学生 4.無職 5.その他 ( )

どちらでこの広報誌『矢作だむっこ』を  
入手されましたか。

キリトリせん



# 矢作川流域の山林の再生を目指して 新たな市民活動が始まっています

荒廃が進む矢作川流域の山林の再生を試みる新たな市民活動が、新聞などにも紹介され、現在、注目されています。今回は、NPO法人奥矢作森林塾の代表を務める大島光利さんにお話をうかがい、活動のきっかけや活動状況などをお聞きました。



NPO法人奥矢作森林塾代表 大島 光利さん

矢作ダム水源地域の住民と自治体、矢作ダム管理所が共同で取り組んでいる水源地域ビジョンを推進するための『矢作水源フォレストランド協議会』の設立を契機に、住民主体の組織として昨年結成された『NPO法人奥矢作森林塾（以下奥矢作森林塾）』は、昨年7月に矢作ダム管理所と共に設置した『奥矢作湖・炭やきの里』をその活動拠点として、矢作ダム湖に流れ着いた流木の活用や荒廃した山林の間伐、山林育成への意識高揚を図ることなどを目的に、積極的な活動を展開されています。

## 恵南豪雨での体験が活動のきっかけに

「平成12年9月の恵南（東海）豪雨の際、当時、消防署に勤務し、人々の救助などにあたっていた私は、橋を押し流しながら矢作ダム湖に流れ着く大量の流木を目の当たりにし、『今、この荒廃した山林を再生しなければ、美しい矢作川を守り、上流地域の環境や下流域の水源を守ることができない』と痛切に感じました。その時の経験が奥矢作森林塾発足のきっかけになります」

大島さんの水源地域のみならず矢作川流域全体を憂う心は、水源地域ビジョン『矢作水源フォレストランド協議会』の発足と共に、実現への歩みを始めることになりました。

積極的に実施していこうと考えています。また、教育事業として、炭やき体験や間伐を通じて、山や水の大切さや水源林の抱える現状を子供たちに伝えたり、地域の不登校生徒を受け入れ、地域のために働くという経験が、再び学校へ戻るための良い機会になればとも考えています」

## 後継者の育成も重要な活動のひとつ

「美しい矢作川を守るといふ活動は、上下流全ての地域が手を結ばないと実現できません。そこで、矢作水源フォレストランドが情報発信の核となればと考えています。10月に立ち上がったホームページには、現在までに1500件を超えるアクセスがあり、私たちの活動は、すでに、様々な人々から注目されていることを感じています」

現在の活動は、『百年計画』と銘打って、百年後に良い材木の採れる山を育てようとながら進んでいるのですが、早い時期に、後を背負って活動を引き継いでくれる人々を育てていくことも、これからのとても重要な活動の一つだと思っています」

現在、大型炭やき窯も建設中で、今年は、ぜひ、その窯を軌道に乗せ、なんとか全国に響き渡るような活動につなげていきたいとおっしゃる大島さん。『今年が勝負の年』と語る目の輝きからも、並々ならぬ意気込みが感じられます。

大島さんの言葉通り、流域の森林を再生し、美しい矢作川の流れを次世代に残すためには、多くの方々のご協力がなければ実現は難しいことです。奥矢作森林塾の活動予定などは、矢作水源フォレストランドのホームページでご覧いただくことができます。これからの活動にご期待いただくとともに、みなさんの積極的な参加を、心からお待ちしています。

矢作水源フォレストランドのホームページアドレス <http://www.yahagi-forestland.jp>



出来上がった炭は、湿度を取るための床下材や水の浄化材、無臭のたい肥製造など、すでに様々な引き合いがあり、炭の生産が軌道に乗っている状態なのだそう。



1月4日には、焼き上がった炭の窯出しを行いました。今後は、出来上がった炭でバーベキューをするなど、様々な体験メニューを加えることも考えているそうです。

●串原中学校生徒による炭やき体験



●名古屋大学学生による炭やき・間伐体験



名古屋大学の炭やき・間伐体験は、12月15・16日の2日間に渡って行われました。女子学生も初めて持つ“チェーンソー”に、悪戦苦闘しながら、楽しく間伐作業を体験しました。



●今回のインタビューは、小出矢作ダム管理所長との対談形式で行いました。

炭やきなどをきっかけに下流の人たちがさらに水源地域の山林に関心を持てるようになっていくといいですね

恵那の山林は雨が降れば土は流れ出てしまうといった最低の状態であることがわかっています

キリトリせん

## 矢作だむっこ・10号 読者アンケート調査

### ① どのコーナーが一番興味深かったですか。

(該当する数字ひとつに○を付けてお答えください)

- 1 特集・市民活動レポート/NPO法人 奥矢作森林塾
- 2 矢作水源フォレストランド最新活動報告/住民による地域交流会を開催
- 3 矢作ダムニュース/平戸橋近くに河川情報板を設置
- 4 その他 ( )

### ② 矢作ダムのどんなことがもっと知りたいですか。

(該当する数字ひとつに○を付けてお答えください)

- 1 ダム湖の堆砂対策
- 2 洪水から下流域を守る治水機能
- 3 ダム湖の水を活用する利水機能
- 4 ダム機能を十分に発揮させるためのダム管理業務
- 5 ダムやダム湖周辺で行われている工事の最新情報
- 6 矢作ダム水源地域ビジョンの最新情報
- 7 ダムで行われるイベント情報
- 8 その他 ( )

### ③ 掲載内容や矢作ダムに関する疑問や要望をお書きください。

(自由にお書きください)

.....

## 住民による地域交流会を開催しました

矢作水源フォレストランド 最新活動報告

矢作ダム水源地域の各地域を相互訪問し、互いの地域風土資源を知ることを通じて、水源地域の貴重な資源として、共有する意識を高め合うことを目的に、『地域交流会』を開催しました。

平成18年6月から11月の期間、3回に分けて実施し、延べ57名が参加、互いの歴史や文化、自然環境や観光施設などを見学しました。

すぐ隣の地域であるにもかかわらず、まだまだ知らない貴重な地域資源が数多くあること、また、今ある資源を有効に活用する必要性を痛感させられ、今後の地域活性化プランの立案につながる有意義な地域交流会となりました。



中部電力奥矢作第2発電所 月瀬の大杉

### ●水源地域ビジョンに関するお問い合わせ先

矢作水源フォレストランド協議会(事務局/国土交通省矢作ダム管理所) TEL.0565-68-2321 FAX.0565-68-2328

